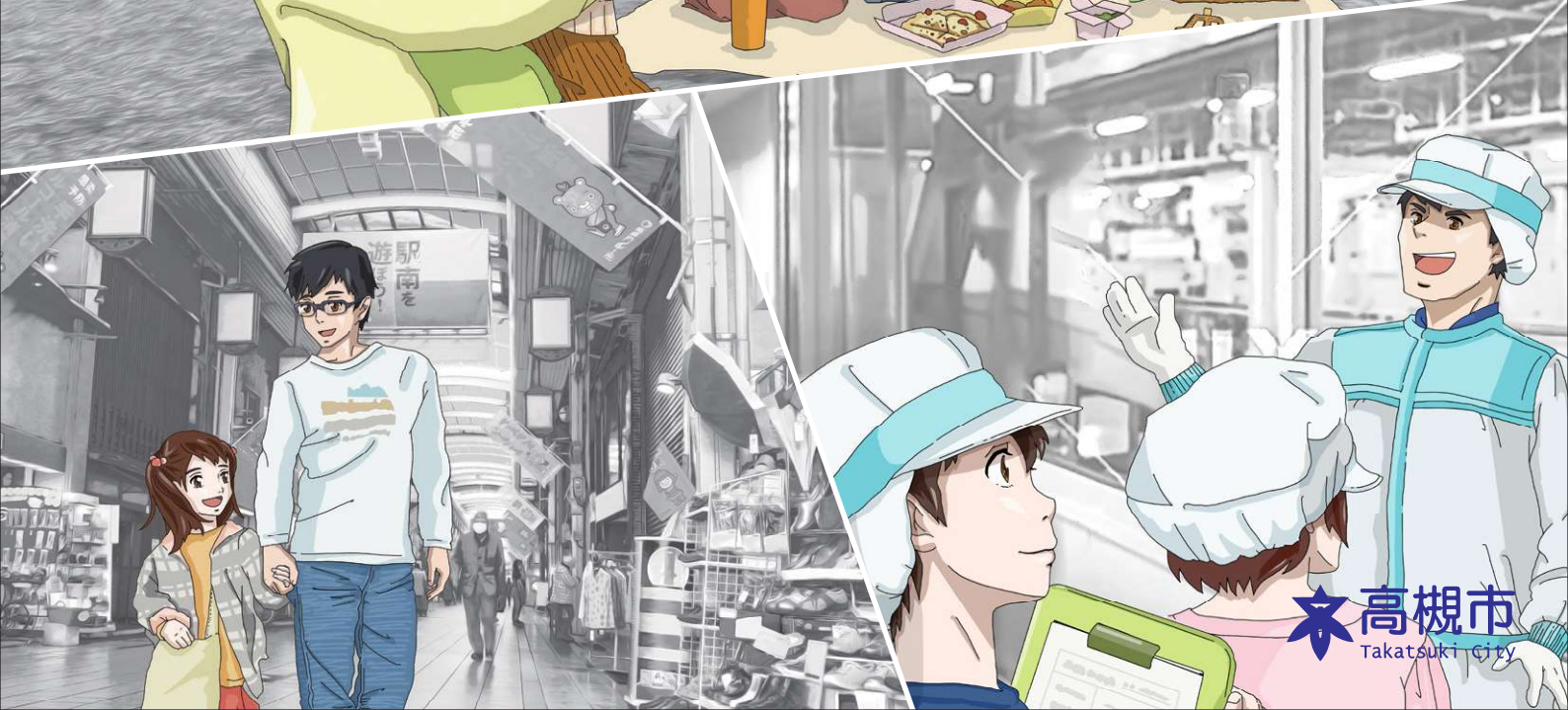


概要版

高槻市 産業・観光振興 ビジョン



1 ビジョン策定の目的と考え方

本市が自立した都市経営を行うために、税収及び地域雇用の確保を図るとともに、市内の多様な観光資源を活用することで、地域経済の発展と交流人口を増加させることを目的とします。

そのため、従来は産業振興の一部門に位置付けていた「観光振興」について、産業振興と同格の施策分野とし、かつ、産業振興と密に連携しながら推進していくこととします。

そして、これまでの「産業振興ビジョン」と、その下位計画である「観光振興計画」を統合し、産業(商業(サービス業含む)及び工業)と観光の振興を総合的に推進するための計画を新たに策定しました。

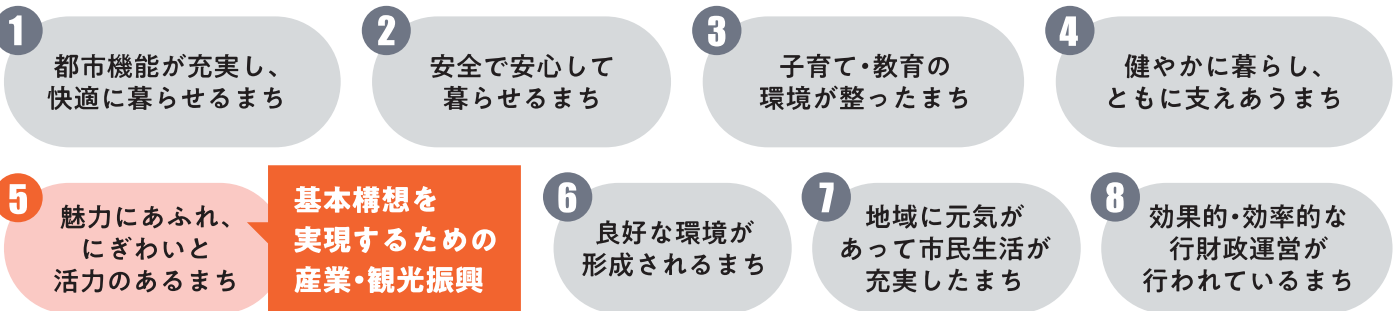
策定にあたっては、従来の施策の成果を踏まえ、商業、工業、観光各分野の課題を整理し、本市の産業・観光振興に取り組む基本理念を掲げ、市及び関係者が展開すべき振興策の方向を打ち出しています。

2 ビジョンの位置づけ

第6次高槻市総合計画に掲げる8つの基本構想のうち、産業・観光分野と関係の深い「魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち」の実現に向けた産業・観光振興を図るための指針とします。

第6次高槻市総合計画におけるまちづくりの合言葉と8つの基本構想

まちづくりの合言葉「輝く未来を創造する 関西の中央都市 高槻」



3 産業・観光の課題

『産業・観光振興ビジョン』では、施策分野を「商業」「工業」「観光」の3分野に分けており、それぞれの課題を踏まえ、下記の基本理念及び基本目標を設定しています。

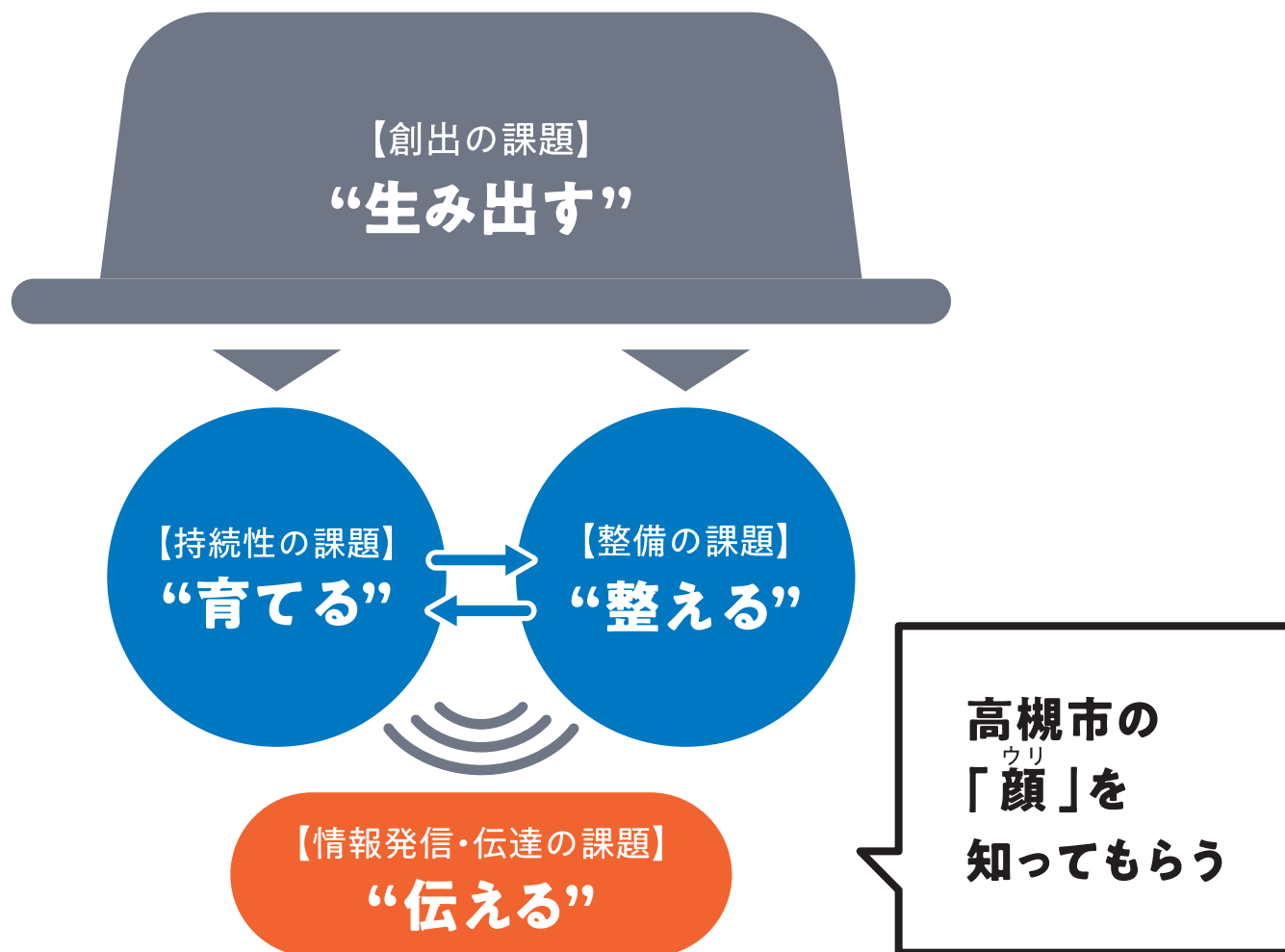
商業	工業	観光
<ul style="list-style-type: none">・中心市街地の活性化・創業支援・製造業との連携促進・地域に根付いた商業の継続発展・商業団体等の活動促進・事業承継へのサポート・中心市街地の環境整備・支援施策の活用促進・商業都市としての魅力伝達	<ul style="list-style-type: none">・新規企業の参入準備・市内の企業定着に向けた環境づくり・市内事業活動の活性化支援・企業間交流の活性化・BCP策定促進・事業承継へのサポート・支援施策、支援機関の周知・本市での企業運営のポテンシャルや魅力発信・伝達	<ul style="list-style-type: none">・体験交流型観光の推進・高槻らしい土産・特産品の推進・観光受け入れ体制の強化・観光事業者の活発化・「高槻好き」の育成・新たな観光基盤の活用・自治体間の広域連携・インバウンド対応の推進・観光ターゲットと観光資源の選択と集中・情報発信の方法

3分野共通の課題

魅力的な高槻市の「顔(ウリ)」をつくり、知ってもらうこと

4 基本理念・基本目標

高槻市の「^{ウリ}顔」をつくる



基本理念：働きたい、訪れたい、にぎわいあふれる街

- 基本目標 ①：【生み出す】 本市の顔を形作る魅力ある企業や個店の創出
基本目標 ②：【育てる】 本市の顔を形作る魅力ある資源の持続と拡大の支援
基本目標 ③：【整える】 本市の顔を形作る要素を整えるための環境づくり
基本目標 ④：【伝える】 本市の顔を戦略的に市内外へ伝える情報戦略

5 期間と推進体制

- ・期間は、令和3年4月～令和13年3月(10年間)とします。
- ・ビジョンの推進にあたっては、PDCAサイクルを徹底するため、3年ごとに実施計画を策定して進捗管理を行うとともに、その達成状況に応じて適宜、見直しを図ります。
- ・関係団体、事業者、市民等、多様な主体と連携して推進を図ります。

6 目指す将来像と各分野の施策

“いきいきと活動する街の人々と、多くの来街者との温かく活発な交流が、街全体に活気を生み出す”。そんな「働きたい、訪れたい、にぎわいあふれる街」の実現を目指します。

そのために、各分野の課題に応じた施策について、一体的に取り組むことで、産業・観光の振興とまちのにぎわいづくりを推進します。

全体の目標達成指標(KGI)

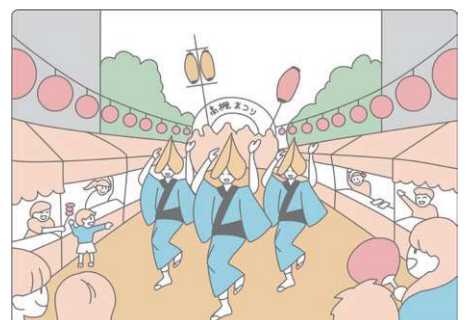
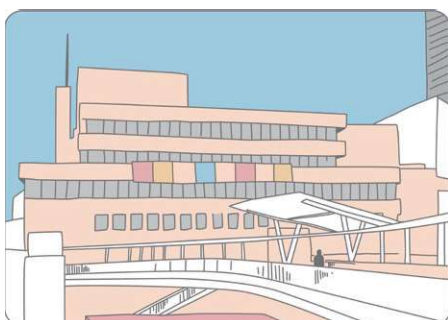
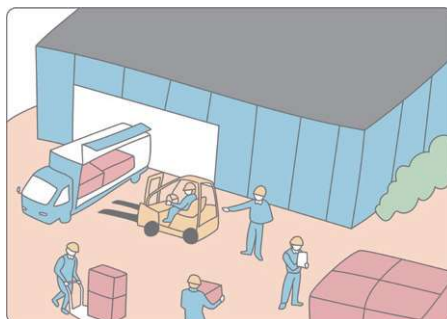
市民意識調査を実施し、市民にとって高槻市が「働きたい、訪れたい、にぎわいあふれる街」であると実感しているかを測る。商業、工業、観光を通じて「街がにぎわっている」と感じる市民の割合(10年後)

基準値(令和2年度)

47%

目標値(令和12年度)

毎年増加



【観光分野の振興】

<将来のイメージ>

(公社)高槻市観光協会を中心とした事業者ネットワークが構築され、様々な資源を活用した体験観光プログラムの開発が進み、幅広いジャンルのイベントが市内随所で行われている。

公共交通機関を含めて観光動線が確保されており、「来て・見て・回遊して・楽しむ・食す」といった観光の要素を十分満喫できる環境が整っている。

事業者・市民・行政が一体となって来訪者をもてなす雰囲気を作り出しており、市民は本市への愛着を持ち、来訪者は自分の嗜好に合わせ、大規模集客イベントから地元個店によるワークショップ等の小規模企画まで、本市でのみ味わえる「たかつきDAY S」を楽しんでいる。歴史やサブカルチャー、食をはじめとする個性的な地域観光資源の魅力を現地だけでなく、観光関連サイトやSNS等においても、至るところで触れることができる街になっている。これらの魅力がマスメディアにも取り上げられ、賑わいが絶えない街となっている。

基本目標	指標(KPI)	基準値	目標値	計測等
生み出す	市内で過ごす市民数と市外からの来訪者数	9,643,063人 (R1)	毎年増加	高槻市における主要イベント実施日及び観光シーズンの土・日曜日、祝日を合計30日設定し、GPSの位置情報を取得。市内人口を基に推計値を算出。
育てる	ネットワーク会議参加事業者数	30者 (R1)	50者 (R12)	「オープンたかつきネットワーク会議」に参加する事業者数を計上
整える	観光アプリのダウンロード数	— (※)	前年度比5%増	(公社)高槻市観光協会が提供する観光アプリのダウンロード数を計上
伝える	観光関連サイトの閲覧数	578,879PV (R1)	前年度比5%増	市または(公社)高槻市観光協会が運営する観光情報サイトの閲覧数を計上

※観光アプリは令和2年度にリリースするため、年度末のダウンロード数を基準値とする。

生み出す

- ①集客イベントの発掘や観光プログラムの開発
- ②周遊性の向上
- ③観光連携協定自治体との広域連携企画の実施
- ④本市独自のご当地グッズや土産品といった観光商品の創出と販売促進
- ⑤ICTを活用した観光プログラムの検討(研究)

育てる

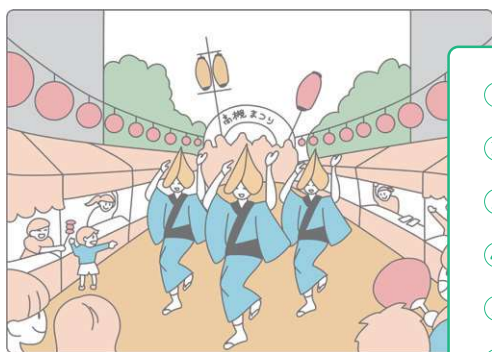
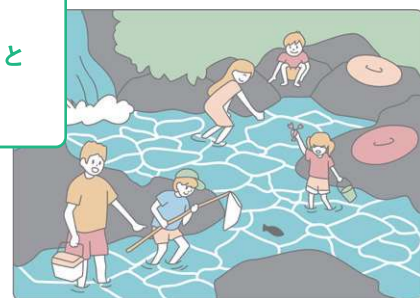
- ①観光推進体制の強化
- ②観光の担い手の育成
- ③関係機関との連携
- ④コンベンション機能の推進とMICEの検討(研究)

整える

- ①周遊観光MaaSの検討(研究)
- ②周遊観光のためのコンテンツ整備
- ③歴史資源を活かした観光基盤の整備検討
- ④摂津峡周辺の活性化
- ⑤インバウンド対応の検討
- ⑥新たなスポットの創出(研究)

伝える

- ①情報発信の強化
- ②SNSを活用した情報発信
- ③観光プロモーションの実施
- ④広域的な情報発信



② 関係団体、事業者、市民等、多様な主体と連携して推進を図ります。